

農のふるさと協力隊

～耕作奮闘記～



農のふるさと協力隊は、高齢化が進む地域の農村において、人手不足などにより過去一年間耕作されることがない農地の再生、維持保全活動を非農家や都市に住む人が地域の人々と一緒になって、里山の風景を守ることを目的とする。



この目的に賛同し、趣味と心の充実を求めて17名が棚田の舞台に立つ。



2月20日(土)

「うわ～！」「見わたせば前も後もススキの草原」。舞台は高山棚田・里山の原風景の復活だ。耕作放棄(遊休地)・耕作地は約1100坪(約3600㎡)、相手にとって不足はない。まさに一期一会の風景である。約4年間、人の管理から放置された姿は痛々しい。

